

戸田康之さん『依頼方法』（4月18日配信）

こんにちは！戸田です。よろしく。

今日は、手話通訳の依頼方法についてのお話です。

今、私が暮らしているのは埼玉県の朝霞市というところです。朝霞に住んで、もう15年くらいになります。生活の中で手話通訳をいつも利用しています。朝霞市での手話通訳の依頼方法、この4月から新たに加わったものがあるんです。LINEでも依頼ができるようになりました。

今までは、手話通訳を頼む時にはFAXかメールでした。どちらも全く問題なく利用できるのですが、FAXにしるメールにしる、相手はその内容を読んだかどうかはこちらからは分かりません。返信があって初めて分かるわけですね。返信が来るまでは、どうなったかと心配になってしまうこともあるんです。

でも、新しく依頼方法に加わったLINE、私もいつも使っていますが、みなさんもお存知の通り、送信したあと相手がそれを読んだら「既読」がつきますよね。そうするとこちらも、相手が見てくれたんだと分かります。「既読」がついていなければまだ読んでいないんだと判別できます。なので、LINEは本当に便利なんです。LINEで通訳依頼をした後に「既読」がつくと、こちらも安心です。あとは、通訳者が誰になるかの決定通知が来るのを待つだけです。

なぜこのような流れになったかというと、朝霞市の聴覚障害者協会の会員から要望が出たからなんです。今はろう者もLINEを使うのが当たり前の生活で、メールよりもLINEの方が圧倒的によく使っている…と。本当にその通りです。だから手話通訳の依頼方法にもLINEを入れてほしい、という意見が会員の中から出て、とても良い意見だと思ったので、市の手話通訳の派遣事務所に要望を出しました。派遣事務所も導入を検討しいろいろ働きかけてくれて、この4月からLINEによる通訳依頼が導入されました。本当にうれしいです。

文字入力による送信ももちろんできますが、文章入力が苦手な人も問題ありません。動画でできます。スマートフォンのカメラで自分の手話を自撮りするんです。「今度手話通訳を頼みたいです。日にちはいつで、場所はここで、内容はこれで…」というような内容の手話をスマホで自撮りし、それをLINEに貼り付けて送信すればOK。文章を打ち込む必要がありません。手話でも依頼ができるのは本当に便利です。

これから通訳依頼にLINEが使えるのが楽しみです。